

連携支援会議の開催について

下記、就学予定児童について、連携支援会議の開催を予定している。

ケース 1

学年：幼稚園年長児

性別：女児

障害名：二分脊椎で導尿の医療的ケアを要する

状況：

- ① 胸部から下が麻痺。車いすを利用している。
- ② 田中ビネーIQ81、知的にはボーダー域。
- ③ 保護者は通常の学級での学習を希望している。
- ④ 導尿の医療的ケアが必要

連携支援会議の開催について：

平成 29 年 12 月 22 日に在籍幼稚園にて、就学先小学校の管理職および教育委員会事務局が参加し、連携支援会議の開催を予定していた。当日、小学校側でインフルエンザ対応が必要となったため、再度の日程調整を実施し、平成 30 年 1 月 25 日に行うこととなった。また、当該児童は、小学校で看護師による医療的ケアの実施が必要なため、医療的ケア利用にかかる連携支援会議を別途設定する。

ケース 2

学年：保育園年長児

性別：男児

障害名：二分脊椎で導尿の医療的ケアを要する

状況：

- ① 胸部から下が麻痺。200 メートル程度は自力歩行が可能。車いすの利用も検討中。
- ② 保護者は通常の学級での学習を希望している。
- ③ 導尿の医療的ケアが必要

連携支援会議の開催について：

在籍保育園、就学先小学校の管理職および教育委員会事務局が参加し、連携支援会議を開催する、また、当該児童は、小学校および学童クラブで看護師による医療的ケアの実施が必要なため、医療的ケア利用にかかる連携支援会議を別

途設定する。

ケース 3

学年：小学 6 年生

性別：女児

障害名：脳性麻痺および下肢障害、体幹機能障害

状況：

- ① 歩行は不安定。現在は、必要に応じて学校生活支援員がサポートしている。
- ② ボタンをはめたり、手を後ろに回すことができず、衣服はもっぱら T シャツとズボン。中学校は制服のため、合理的配慮が必要。
- ③ WISK 検査を行ったところ、視覚の認知力が低いことが判明。⇒見ているものが頭に入っていない。「段差があるから注意して」など具体的な指示が必要。
- ④ 和式トイレの利用やサンダルへの履き替えはできない。合理的配慮が必要。
- ⑤ 着替えは、座って行う。座位が保てるスペースの確保が必要。
- ⑥ 給食を手で運ぶことができない。

連携支援会議の開催について：

在籍小学校・就学先中学校の管理職および教育委員会事務局が参加し、開催する。中学生ということもあり、本人の自立を妨げない形式での支援方法を検討する。